

会長挨拶

Jネット会長

和久井博（幸町出身）

皆さんこんにちは。本日はご多忙の中を平成十九年度ふるさと上越ネットワークにご参加いただきありがとうございます。開会に先立ちまして一言ご挨拶させていただきます。

ふるさと上越ネットワークは平成九年に設立されました。ちょうど十年の歳月が流れたことになりました。この十年目の今、Jネットが抱えている問題は何かといえますと、会員数の減少です。一時期、会員が一〇〇〇人を越えておりましたが、年々減少してきています。その原因が何かと考えますと、今までは同窓会の名簿とか郷人会の名簿を元に入会の勧誘をしていましたが、「個人情報保護法」が施行されて、それが、なかなか出来なくなってきた。それから前にも触れましたけど、集団就職で毎年四十万人近い人が東京などに出てこられた方々が、ちょうど今六十歳代になられた。それで降が非常に少なくなっている。だから会員になっていただく対

象者がなくなってきました。

ですから今年は緊急の課題としてその会員の増強策を考えたいと思っております。しかしながら、これまでのように会員の皆様からご紹介いただくというのが一番いい方法ですので、これから是非ご協力いただきたいと思っております。

さて、今年はご存知の通り上越に親鸞聖人が上陸されて八〇〇年という事で、上越市を始め、いろんな所で多彩な催しが計画されています。Jネットでも藤沢理事が中心になって行っております勉強会で千葉県いすみ市にあります照願寺に行きました。そこにはすごい絵巻物がありまして、「親鸞聖人伝絵」といいますが、その複製の四巻の絵巻物を大広間に広げて住職に説明していただきました。本物は、もちろん国の重要文化財です。複製がかなりあるようですので、できれば上越市にも是非欲しいなと思いました。それから春の交流会は、高田城址の見事な満

開の桜の下で美味しいお酒と美味しい料理を味わってきました。そのあとは板倉区にある「ゑしんの里」に行きました。私は初めてでしたが、すごく立派なところですので、是非もつとつとPRしたら良いと思います。

さて、話は変わりますが、本日も参加いただいておりますが、当会理事でオリンピックバス株式会社の最高顧問をされている下山敏郎さんが大変立派な本を先日出版されました。タイトルは『世界を制覇した日本のカメラ―奮闘したサムライたちの記録』であります。ご存知のように今はライカとかカルツァイスなどドイツのカメラは全滅です。何故そういうことになったかという経緯が非常に詳しく書かれていますし、同時に下山さんが歩んでこられた大変な困難、辛苦、奮闘の数奇な運命がこの本の中に書いてありますので是非読んでいただければと思います。私も久しぶりに大感激して読みました。Jネットの会員の皆さん、特にカメラに興味のある方は必読の本だと思います。

Jネットの活動といふのも大事だと思いますが、頑張っている会員をサポートするのもJネットの大変重要な機能だと思えます。先日もし吉川区出身の安島和夫さんという、東京で居酒屋チェーンを経営されておられるJ



ネットの会員の方がおられますが、その方にも上越の酒屋さんを紹介しました。それから今日こられているかもしれませんが、佐藤光子さんが、高田農業高校の先生されていた高野喜久雄先生の「水の命」という有名な合唱曲があるんですが、上越で演奏会をやるとういうようなことで努力されています。

それから松川太賀雄副会長も東京農業大学と組んで、桑取地区二帯を無農薬、有機栽培の里にして、そこで安全、安心なお米を栽培し、全国に発信しようという計画をしています。また、先日完成した映画「ふみ子の海」には、実は松川さんも俳優として出演しておられます。そうしたいろいろなものを、是非Ｊネットとしても応援していきたいと思っています。

まだ正式な話ではありませんが、Ｊネットの初代会長をされた佐久間昇二さんが発起人となられまして三和区にあります富永邸の保存会を設立されようとしておられます。これなんかも、まさにＪネットがサポートしていかなくてはならないプロジェクトだと思います。是非、会員の皆様にご協力いただきながら積極的に協力していきたいと思っています。

本日は一年に一回の総会・懇親会でございます。上越から沢山のお酒や食べ物が届いておりますので、是非ゆつくり皆さんに楽しんでいただきたいと思います。最後になりますがここにお集まりの皆様のご発展、ご健勝を祈念いたし

ましてご挨拶に代えさせていただきます。どうもありがとうございました。

